

デジタルとくしま推進プラン

～とくしま版DXの実現に向けて～

9 テレワーク推進プロジェクト



プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

新たな価値が創造され、豊かさを実感できる社会

基本目標(分野)

人と企業が集まる地域づくり

重点戦略

地域の強みとデジタル技術を活用した、新サービスの創出

プロジェクトの内容

- ① 県内企業に対し、テレワーク実装化に向け、DX等に対応する業務の電子化に向けた支援やテレワーク出前相談など、ステップアップ支援を行う。
- ② 自営型テレワーカーやテレワークコーディネーターを養成するため、研修等を実施する。
- ③ 関係機関と連携し、養成したテレワーカーと県内企業とのマッチングを支援する。
- ④ テレワーク推進の拠点施設「テレワークセンター徳島」を運営し、導入・定着に関する相談対応やホームページ等での情報提供を行う。



テレワーク
センター徳島
Telework Center Tokushima



個別相談

対面・リモートで
随時対応

企業の現状や課題をアドバイザーが聞き取り、専門機関と連携しながら相談対応

導入・定着に向けたトータルサポート

情報提供・イベント・セミナー

テレワークツール体験

お試し・本格導入支援

マッチング支援

県内でのテレワーク
普及促進

災害に強い
徳島づくり

県内中小企業の
経営基盤の強化

徳島への
地方回帰促進

「多様な人材」の
活躍促進

主な指標及び工程(1)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

◆ KGI : 県の支援を受け、県内でテレワークを導入した事業所数 (トライアル実施含む) (累計)

担当課:労働雇用戦略課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	115	135	145	155
実績	115	128	143	153(見込)	—

□ CSF-1 : テレワーク導入・定着に関する県内企業への個別支援

➤ KPI-1 : テレワークに関する相談対応等件数/年(※1)

担当課:労働雇用戦略課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	80	80	80	80
実績	91	28(※2)	85	82(見込)	—

(※1)対面・電話・オンラインによる個別支援件数

(※2)新型コロナの感染拡大のため、企業への訪問が困難になり、目標は未達成であるが、「社内メンバーだけでなく、テレワークセンター徳島からアドバイスをもらいながら進めることが、課題解決への早道となった」などの声もあり、企業の満足度は高い。

主な指標及び工程(2)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

□ CSF-2 : テレワーク普及の為の人材育成

- KPI-1 : テレワーカー及びテレワーク
コーディネーター養成数/年(※3)

担当課:労働雇用戦略課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10	10	10	10
実績	9	12	29	28(見込)	—

(※3)講座受講により得たスキルを活かし、
テレワーカーとして県内企業から業務委託を受けるなど、
それぞれが活躍されている。

課題とアクション

	課題	アクション
1	<p>令和5年10月から11月にかけて行ったアンケート調査により、企業のテレワーク導入にあたっては、「適した仕事がない」、「労務管理・評価が困難」、「情報漏洩が心配」などが、課題として多く挙げられた。</p> <p>また、導入・定着どちらの場合も「助成金・補助金情報」や「勤務規定・実施ルール」に関する支援ニーズが高いことが分かった。</p>	<p>アンケート調査の結果を踏まえ、ニーズに応じた情報提供や、導入・定着に向けたきめ細かな支援を行うことで、企業におけるテレワークの満足度を向上させ、県内でのテレワーク普及促進を図る。</p>

令和5年度における取組内容

■ 主な取組

- テレワークセンター徳島の運営(随時相談対応等)
- 県内企業を対象としたアンケート調査
- とくしまテレワーク講座
 - ・ 短期間で気軽に受講できるスキルアップ講座等を開催
 - ・ ①「キャリアアップを目指す方」を対象とした講座を追加
 - ・ 希望者には「キャリアカウンセリング」を実施 ※キャリア…職業上の経歴や経験
- マッチング支援
 - ・ 県内企業の深刻な人材不足に対応
- テレワークdeはぐくみ支援表彰(表彰企業一覧については、資料10ページのURLを参照)
 - ・ 仕事と家庭の両立支援等に取り組む「はぐくみ支援企業」に対して
テレワーク導入を促進

■ 令和5年度予算 17,000千円

- とくしまスマートワークプロジェクト

令和5年度における取組内容(参考)



令和5年度(2023年) 10月3日(火) 令和5年度(2023年) 12月15日(金)

いつでも学べる! いつでも出える!

2023 とくしま テレワーク講座

【実施期間】
令和5年(2023年) 10月3日(火)
令和5年(2023年) 12月15日(金)

【受講方法】リアルタイム(来館^{※1}/オンライン)、録画受講^{※2}

※1 受講での受講料はテレワークセンター一歳です。
※2 録画受講料は参加費に追加の受講料がかかります。個人への配慮や関係の都合により変更した内容になる場合があります。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月
とくしまテレワーク講座(講座年度ごとの申込み)									
とくしまテレワーク講座2023にお申込み可能な期間									
とくしまテレワーク講座2023									
録画受講可能									
キャリアアップ講座									

POINT 1 いつでもどこでも学びたい気持ちに応えます
とくしまテレワーク講座では、リアルタイム受講に加え録画受講も可能です。都合に合わせてまとめて視聴し、必要なときにいつでもどこでもワークスペースや学習プラットフォームで視聴可能な学習コンテンツがご用意されています。これから社会に出ていきたい方や求職中の方にはもちろん、いま現在が仕事をしながら知識をアップデートしたい方にも、学ぶの機会をご提供します。

POINT 2 キャリア形成のためのスキルの習得をサポートします
コース受講及び卒業後には、受講後のキャリアコンサルティングを実施いたします。コース受講のほか、単発受講でも受講後の支援がありますので、おひとりおひとりに合わせた受講のご相談(経験や希望を持った上での支援)も承ります。今後のキャリアのためにとくしまテレワーク講座を是非お役立てください。

POINT 3 仕事との出合いをマッチング
仕事との出合いの場として県内企業とのキャリアマッチングを予定しています。マッチングを支援した実績もあり、そのためのスキルアップの場として講座を利用できます。

➤ とくしまテレワーク講座

- 内容
 - ー テレワーカー体験談
 - ー ウェブアクセシビリティ講座

など、全20講座

(単発受講、テレワーカーコース、コーディネーターコース、スマートワーク推進コースを選択可)

- 実績
 - ー 各講座延べ申込み人数 676名

⑧ 管理職・キャリアアップを目指す方向けのプログラム

チームで成果を出すためのマネジメントとリーダーシップについて、セミナーやe-ラーニングコンテンツにより学んでいただく機会を提供。



令和6年度における取組予定

■ 主な取組

- テレワークセンター徳島の運営(随時相談対応等)
- とくしまテレワーク講座
 - ・ 各自の到達したいレベルに応じて、オンデマンド(録画配信)等により気軽に受講できるスキルアップ講座を開催
- マッチング支援
- テレワークdeはぐくみ支援表彰
- ⑧「徳島県働き方改革アップデート・レポート(仮)」の作成
 - ・ 県内企業の働き方改革に関する現況調査・分析を実施
 - ・ 県内外の企業等の先進的な事例を研究

▶ 徳島新未来創生総合計画(案)が掲げるビジョンの実現に向けた今後の政策立案等に活用

■ 令和6年度予算 15,000千円

- とくしまスマートワークプロジェクト



案件種別

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当なし)

参考情報URL等

- テレワークセンター徳島

- テレワークセンター徳島ホームページ

<https://www.tokushima-telework.jp/>



- テレワークに関するアンケート調査

https://www.tokushima-telework.jp/new_start/koyougata/6151.html



- テレワークdeはぐくみ支援表彰

- 「はぐくみ支援企業」表彰された企業のご紹介

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/rodokankei/5052906/>

